

家事は、

どうして大変なの？

令和7年度東久留米市男女平等推進センター主催
男女共同参画週間関連事業
「誰でも、どこでも、自分らしく」
(令和7年度男女共同参画週間キャッチフレーズ)

解決のヒントを探る

講師：阿古 真理さん
(作家・生活史研究家)

6月29日(日)

14:00～16:00

会場：市民プラザホール(市役所1階)



家事を切り口に、社会の状況や社会構造の問題、家事に対する人々の意識の移り変わりを読み解き、家事をめぐる「ねばならない」を手放すヒントを見つけます。

前半は講義、後半はグループで「名前のない家事」のリストを作り、可視化します。

- 保 育：2歳児から未就学児の保育あり
(定員5人、先着順)

*要申し込み 6月20日(金)午後5時まで



- 対 象：関心のある方
- 定 員：先着25人(要申し込み)
- 申し込み：6月16日(月)午前9時から
 - ・申し込みフォーム(右記二次元コード)から
 - ・TEL 042-472-0061
 - ・または直接、男女平等推進センターへ
(市役所2階、平日午前9時～午後5時)



申し込みフォーム

阿古 真理(あこ・まり)さん

1968年兵庫県生まれ。作家・生活史研究家。食のトレンドと生活史、ジェンダーなどのジャンルで執筆。著書に『ルポ「まる子世代」 変化する社会と女性の生き方』(2004年)『昭和育ちのおいしい記憶』(2014年)『小林カツ代と栗原はるみ』(2015年)『料理は女の義務ですか』(2017年)『母と娘はなぜ対立するのか 女性をとりまく家族と社会』(2019年)『家事は大変って気づきましたか?』(2022年)『日本の台所とキッチン ―〇〇物語』(2024年)など。

